



附属図書館連続講演会を開催

附属図書館では、十一月十五日(火)、十二月九日(金)及び二月九日(木)に文教キャンパス内総合教育研究棟において附属図書館主催、長崎県図書館協議会共催の「長崎大学附属図書館連続講演会／学術情報流通は今―現状と課題」を開催しました。

この連続講演会は、激変しつつある学術情報流通の現状と課題に対する理解を深めるために長崎県内外の大学教職員及びひ学生を対象に開催されたものです。

講演会には延べ一八五名が参加し、講演に熱心に耳を傾け、活発な質疑応答が行われました。



県外からの参加者もあり盛況だった講演会

環境科学部で第一回アジア社会環境国際学術会議を開催

環境科学部では、十一月十七日(木)及び十八日(金)に文教キャンパス内総合教育研究棟において「第一回アジア社会環境国際学術会議」を開催しました。

これまでは、台湾の淡江(タンカン)大学との姉妹提携を柱とした二国間の国際交流の会議でしたが、今回から台湾、韓国などによる東アジアにおける環境国際会議へ発展したものです。

会議では、アジア社会における環境科学、とりわけ環境問題に関する理系・文系の広領域にわたっての研究発表がすべて英語によって行われ、活発な討論が交わされました。

参加者は、海外からを含め延べ一三〇名に及び、新たな広がりをもった会議となりました。



会場の様子

「長崎大学外国人留学生交流の集い」を開催

十二月八日(木)、今回で二十八回目を迎えた「長崎大学外国人留学生交流の集い」がウェルシテイ長崎で開催されました。

集いには、留学生、日本人学生、教職員及び学外の支援団体の関係者など約三三〇人が参加し、齋藤学長及び来賓の挨拶に続いて、長崎大学留学生協会(NUFSA)会長カドカケ!

シーさん(教育学研究科・ネパール)が謝辞を述べた後、恒例の留学生による各国の民族舞踏・楽器演奏・歌の紹介などのアトラクションが行われ、

終始和やかな雰囲気の中で参加者相互の親睦と交流が深められました。



中国の留学生による宮廷舞踊

長大生が

「学生ボランティア交通安全活動」に参加

十二月十二日(月)から三十一日(土)まで実施された年末の交通安全県民運動に、本学の学生二十四人がボランティアとして参加しました。学生ボランティア交通安全活動は、浦上警察署の提案によるもので、「夏の交通安全県民運動」に続いて二回目となります。

参加した学生の皆さんは、浦上警察署員から横断旗の振り方など歩行者の誘導方法について指導を受けた後、通学や通勤途中の歩行者の安全を守る誘導活動に取り組んだほか、商店街での交通安全安全キャンペーンに参加して交通安全グッズなどを配布しました。



商店街で交通安全キャンペーンを行う学生

共同研究交流センターが「産学交流面談・相談会」を開催

共同研究交流センターでは、地域企業の生の声を直接収集・分析し、その結果を共同研究等へと展開し、地域社会との更なる連携を図る目的で、十二月十六日(金)長崎会場において、一月十三日(金)佐世保会場において長崎大学による「産学交流・面談・相談会」を開催しました。

今年は、高橋税理士事務所高橋武志税理士を講師に迎え、本年四月から施行される新「会社法」のポイントと対応策について講演がありました。相談会では、企業等からの技術相談や今後の共同研究等への発展が期待される数多くの相談などを受けました。



面談・相談会の様子(佐世保会場)



個人情報保護研修会を実施

十二月十九日(月)、本学の保有個人情報への取扱いに従事する職員等に対し、保有個人情報の取扱いについて理解を深め、個人情報の保護に関する意識の高揚を図るため、個人情報保護研修会を実施しました。

同研修会では、新潟大学の鈴木正朝教授による講演があり、国立大学法人における個人情報の取扱いや厳重な安全管理の措置等について

の丁寧な解説に四〇〇人余の参加者は熱心に耳を傾けていました。

講演後の質疑応答では、質問が相次ぎ、個人情報保護に対する関心の高さをうかがわせ、有意義な研修会となりました。



講演をする新潟大学の鈴木正朝教授

医学部・歯学部附属病院に「へき地病院再生支援・教育機構」を設置

医学部・歯学部附属病院では、十一月二十五日(金)に大学関係者の出席のもとに「へき地病院再生支援・教育機構」の看板掲式を行いました。これは、平成十七年度文部科学省大学教育改革推進事業の「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」において選定された「大学発」病院再生による地域医療人養成プログラムを推進するために設置されたものです。

同機構は、疲弊し衰退するへき地医

療現場に地域臨床教育拠点を設置し、本院の組織的関与による地域病院の再生を通じて、後期臨床研修医に対し、「へき地医療の先進性と面白さ」を体

得させ、地域に定着する医療人の育成を図り、現代版「赤ひげ」育成(平成十六年度採択特色G.P.卒前教育)の完結としての次世代地域医療人(日本流総合医)を育成します。



看板を掲げる齋藤学長ら関係者

医学部・歯学部附属病院で病院モニター会議を開催

医学部・歯学部附属病院では、十一月二十九日(火)、平成十七年度第一回病院モニター会議を開催しました。

この会議は、医学部・歯学部附属病院の経営・運営及び患者アムニティ等について、一般市民より募集を行った病院モニターの方々との意見交換を行うために開かれたものです。

第一回目となる今回は、「患者アムニティの充実について」をテーマとして、今後の病院運営の参考となる忌憚のない多くのご意見・ご要望をいただくことができました。

会議は一時間程度と短い時間ではありましたが、外部からの生の声を聞くことのできる貴重な時間となりました。



病院モニター会議の様子

中小企業金融公庫長崎支店及び株式会社十八銀行と「産学連携の協力推進に係る協定」を締結

十二月二十一日(水)に中小企業金融公庫長崎支店と、また、二月二十二日(水)に株式会社十八銀行と「産学連携の協力推進に係る協定」を締結しました。

これにより地域の産学連携を推進し、地域中小企業の発展に貢献するとともに学術の発展に寄与することが期待されます。



中小企業金融公庫長崎支店との記念撮影



株式会社十八銀行との記念撮影

放射線医学総合研究所と包括的協力協定を締結

一月二十四日(火)、放射線医学総合研究所と放射線分野の教育、研究と診療活動の充実を図る協定を締結しました。

この連携により、幅広い分野で研究開発力を強化しつつ、研究成果を上げて社会に還元する体制が整い世界の放射線分野の発展と継承に大きく貢献することが期待されます。



協定書交換後握手を交わす齋藤学長と佐々木理事長